

単元名 言葉から思いを広げて(絵)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 詩や物語から感じたことを形や色でとらえ、その情景を工夫して絵に表すことができる。
 (2) 詩や物語から想像したことに合う形や色などの構成を考えるとともに、友達や自分の作品から自分の見方や感じ方を深めることができる。
 (3) 主体的に、詩や物語から情景を想像し、絵に表す活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05080202_001

【準備等】画用紙、色画用紙、水彩用具一式、サインペン、クレヨン、パス

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 今までに読んだ詩や物語の中で、感動した言葉や場面を思い出し、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の参考作品を見て、詩や物語の主題や場面の情景と色彩について考える。 ★心に残った場面を絵にかこう 印象に残っている詩や物語を思い出し、どんな場面か、そのときどんな気持ちだったのかを発表する。 簡単なスケッチをし、構想を練る。 <p>2 スケッチを基に、下絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面構成を考えて下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> 一番かきたいもの 周りのもの 表現を工夫する。 <p>3～5 場面がよく分かるように技法を工夫しながら、彩色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心になるものを彩色する。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の表情や様子 中心になる色 画面の広がりや深まり 場面の様子が分かるように、周りのものを彩色する。 全体の調子を整えながら、作品を完成する。 <p>6 友達の絵を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 思いや気持ちを作品カードに記入する。 友達の作品のよさをみんなで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> パステルを削って付けた色から、光の感じがよく伝わります。 青色に黒色を混ぜることで、静かな夜のような感じがします。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 5・6 上 P. 46, 47 事前に予告し、この単元に向け詩や物語を選ばせておいてもよい。 教科書の作品を基に、中心になる色や描画材料、表現などについて理解を深めるようにする。 国語の単元と関連させて取り組ませてもよい 日頃から、読書に親しませておく。 スケッチの段階で、教師は児童の思いを理解し、構図や表現の選択などを助言する。 下絵はスケッチを基に画面構成を考えてかかせる。 自分が一番表現したいものを中心にして、周りの様子をとらえさせる。 表現をより効果的にするために、省略や強調などをして構図を工夫することを伝える。 【評】主題をどう表すかについて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 中心になる色を決めたり、対比する色を意識させたりしながら、画面の広がりや深まりを表す工夫ができるように支援する。 場面の様子を考えさせながら、丁寧に彩色させる。 途中で、表したいものが表現されているか確認させる。 【評】詩や物語に触れ、想像した場面に適した表現を見つけ、絵に表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。 友達の作品に対する思いやそのよさを感じ取らせる。 【評】自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や特徴、表し方などを感じ取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

他教科等との関連

国語科で読んだ詩や物語を基に活動することもできる。文章を読んで自分なりの考えをまとめたり、思いを広げたりすることは国語科の「〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと(1)」にもつながる。